

山口市議会報告

Y o m a g u c h i C i t y C o u n c i l R e p o r t

vol.30

地域政党
やまぐちの風

発行責任者 竹中一郎
山口市議会議員

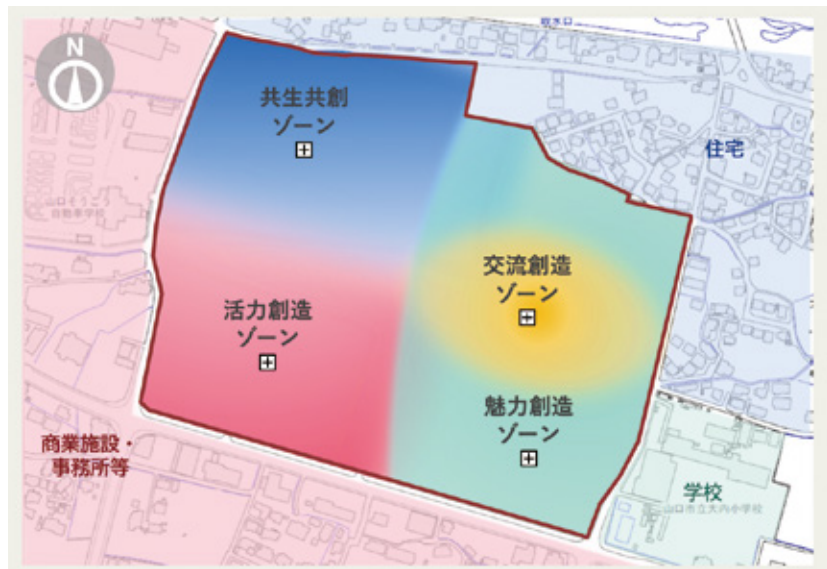
新たに生まれる交流の拠点 まちの魅力創造に向けたコンセプトを！ ～山口県農業試験場跡地～

令和7年 第3回山口市議会定例会 **質問と答弁**

山口県農業試験場跡地 利用について

▶質問

東側を公的利活用促進エリアと位置付け、地域交流センターの整備、既存グラウンド、緑地の利活用を予定されているが、検討状況について伺う。



ゾーニングのイメージ

▶答弁

本年7月に基本計画を策定し、交通渋滞対策・雨水排水対策といった諸課題への対応、跡地に導入する機能の考え方やそれらを特色のある4つのゾーン、共生共創ゾーン、活力創造ゾーン、交流創造ゾーン、魅力創造ゾーンとして配置する土地利用方針、そして、今後の進め方や事業スケジュール等について、県と共に検討を進めた。地域交流センターは、来年度基本設計を予定し、既存緑地やグラウンドの活用方策と合わせ、地域の皆様からの意見をしっかりと聞いて検討を進める。

▶質問

魅力創造ゾーンの緑地整備のコンセプトとして、ペットと共に過ごせる空間づくりについて伺う。

▶答弁

緑地が位置する魅力創造ゾーンとして、心の安らぎや癒し、魅力あるイベントの創出など、まちの魅力創造を目指す。このゾーンでは、公園や広場といった緑地を活用した機能を検討している中、幅広い世代の人々を惹きつける魅力的なコンテンツとして、ドッグランを導入する施設例の一つに挙げている。ペットの位置づけや役割が変化し、家族の一員、パートナーとして捉えるような社会的傾向が広がっていることから、跡地内の緑地整備におけるペットと共に過ごせる空間づくりについては、跡地の訴求力を高め、人々を惹きつけるコンテンツ、また、コンセプトの一つであろうと認識する一方で、ペットと共生する空間の形成については、ペットの安全性確保や適切な衛生管理といった考慮すべき課題も有することから、取組事例の把握に努め、様々な視点から検討していく必要があるものと考えている。

▶議会での主張

段階的な整備を進めるに当たり、先行する整備により後の整備に支障が生じることのないよう、あらかじめ、雨水排水を考慮し、造成地盤高や調整池の位置、規模といった、跡地全体の基盤整備基準の設定に向けた検討を要望する。



山口県農業試験場跡地

Achiro's Eye
気づいたこと感じたこと

農業試験場跡地利用は、これからの時代を見据え、山口県と本市の未来をけん引する、モデルとなるプロジェクトとしての政策的な位置づけがあると認識しています。多くの来訪者にとって魅力ある、ある意味、少し尖がった、明確なコンセプトを打ち出していくことも必要ではないでしょうか。市民からの期待のひとつとして、ペットを連れて楽しい時間を過ごせる、そのような空間づくりのコンセプトを提案しましたが、もちろん空間利用となれば犬や猫が苦手な方もおられますので、共存のためのルール作りが必要です。それも含めて、ひとつのモデル的な空間として農業試験場跡地を考えてみてはどうでしょうか。

浸水対策の 新たな施設整備について

▶質問

令和8年度に公表される、雨水管理総合計画の策定に向けて、浸水シミュレーションを行い、今後、浸水対策施設の整備に向けた具体的な検討がされると認識するが、これまでの浸水被害の状況から、現時点で想定される、新たな浸水対策施設整備について伺う。

▶答弁

市内各地における浸水リスクを評価したうえで、有効な対策について検討していく。特に、大内の中村橋付近については、移動式排水ポンプでの排水作業を毎年継続しているが何度も道路冠水が発生している。この主な原因としては、地盤が低い地区で水が集まりやすい地形特性に加え、豪雨時には、問田川の水位が上昇し、排水不良が起こって、道路冠水が生じる状況である。将来的には、現状の移動式排水ポンプ以上の排水能力のある、常設のポンプ施設が必要だと認識している。

▶議会での主張

農業試験場跡地利用と新たな浸水対策施設整備の計画策定を同時進行で行うこと、特に道路冠水が度々生じる中村橋付近については、常設の雨水ポンプ場整備の検討を要望する。

若者の地元就職促進に向けた 支援について

▶質問

学生の就職に対する意識や採用環境の変化は企業の採用活動に影響を与えているが、最新の動向を踏まえ、企業が時代に即した採用戦略を構築できるよう、具体的にどのような支援をするのか伺う。

▶答弁

市内の中小企業がデジタル技術を活用した採用戦略の必要性を認識し、活用していただくためのセミナー等の取組を継続していくとともに、採用サイトの充実やSNS発信などのデジタル技術を活用した企業の人材育成などの支援に引き続き、取り組んでいく。さらに、若者の地元就職促進に向けて、企業の認知度不足といった課題に対応するため、学生の視点から企業の魅力を発見する「企業の魅力発見プロジェクト」を実施し、学生が市内企業を訪問・取材し、その成果を発表することで、若者の視点から企業が自社の魅力を見つめ直す機会を提供していく。

▶議会での主張

本市の人口減少に歯止めをかけるためには、市内企業の人材確保を重要な課題と位置づけ、若者の地元就職や定着促進に向けた取組を推進すべきである。

中学校部活動の 地域移行について

▶質問

学校部活動から地域クラブ活動に移行されるまで1年となった。活動日数については、原則として平日2日、休日1日の週3日の活動を基本とする方針が示されている。本市が設置・運営する地域クラブの活動趣旨について伺う。

▶答弁

活動日数は週3日を原則としながらも、定期試験期間等の活動休止期間を振り替えて活動することを可能とし、コンクールや大会前には、できるだけ現行の部活動と同様の日数を確保する。限られた活動日数の中で、生徒の自主性・主体性と指導者の工夫のもと、計画的かつ効率的に練習を重ね成果を求められるよう、弾力的な運用を図っていく。生徒が豊かな人間性を育み、安心・安全な活動ができ、生涯にわたる運動習慣づくりや文化芸術等への愛好を促進したいと考えている。

▶議会での主張

現在、学校部活動で行われている生徒の活動が可能な限り確保され、移行初期における生徒の混乱や負担を最小限に抑えることを要望する。

新山口駅北地区 再開発事業について

▶質問

新山口駅北地区第一種市街地再開発事業について伺う。

▶答弁

資材高騰による影響が懸念されたが、国の「防災・省エネまちづくり緊急促進補助金」が活用できたことで、順調に事業が進んでいると伺っている。ホテル棟、オフィス棟、賃貸住宅棟からなる1街区は、6月末に工事請負業者から組合へ施設が引き渡され、高層都市型住宅施設からなる2街区についても、9月末に工事請負業者から組合への施設が引き渡され登記手続きが進められた。その後、保留床等の処分・精算が行われ、当初の計画通り、令和8年2月の事業完了に向け手続きが進められる。



新山口駅北地区市街地再開発

▶議会での主張

新山口駅周辺では、高次都市機能の集積が進む一方で、駐車場が不足するといった実態があるため、駐車場整備計画を策定し、計画を踏まえた駐車場の整備を要望する。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

